授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	航空機基礎整備実習		
授業科目	ベンチ作業	単　位	4
授業科目の目標	課題製作を通し、各種工具の知識・ねじの知識・使用上安全上の注意事項・作業姿勢・計測器による判定について習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 弓のこ	(1) 弓のこの概要及び作業時の注意事項	2 H
2. ヤスリ	(1) ヤスリの概要及び作業時の注意事項	2 H
3. ドリル	(1) ドリルの概要及び作業時の注意事項	2 H
4. ねじ	(1) ねじの概要 (2) 検査	4 H
5. スタッド	(1) スタッドの概要	1 H
6. タップ	(1) タップの概要及び作業時の注意事項 (2) 検査	2 H
7. ダイス	(1) ダイスの概要及び作業時の注意事項 (2) 検査	2 H
8. 卓上ボール盤	(1) 卓上ボール盤の概要及び作業時の注意事項	1 H
9. ヘリコイル	(1) ヘリコイルの概要 (2) 取付け・取外し	7 H
10. リーマ	(1) リーマの概要 (2) リーマ作業	5 H
11. グラインダ	(1) グラインダの概要及び作業時の注意事項	1 H
12. 課題作成	(1) 文鎮の製作 (2) つまみの製作	42 H
13. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
		合計 72 H
使用する機械器具等	弓鋸、やすり、ドリル、卓上ボール盤、タップ、ダイス、スタッドリムーバー、ヘリコイル用ツール、リーマ、グラインダ	

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	航空機基礎整備実習		
授業科目	表面処理実習	単　位	1
授業科目の目標	課題製作を通し、防食方法・塗装作業など表面処理に関する基本技術を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 腐食一般	(1) 腐食の発生原因と種類 (2) 腐食の除去方法	3 H
2. 防食一般	(1) クリーニング (2) 化成皮膜処理 (3) 陽極処理 (4) メッキ (5) 塗装 (6) 鋼の表面処理	3 H
3. 塗装法	(1) スプレーガンの構造 (2) ガンの操作方法と調整方法 (3) 剥離剤による塗膜の除去 (4) 塗装面の下地処理 (5) 塗料粘度調整作業 (6) 塗料塗布作業（プライマー／トップコート）	11 H
4. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H
		合計 18 H

使用する機械器具等	塗装ブース、コンプレッサ

令和元年10月改訂

授 業 科 目 カ リ キ ュ ラ ム 表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教 科 の 科 目	航空機基礎整備実習		
授　業　科　目	板金作業	単　位	4
授業科目の目標	課題製作を通し、構造修理の原則・パッチ修理作業・リベット作業・アルミ板の折り曲げ作業など板金作業に関する基本技術を習得する。		

授業科目の細目	授　業　科　目　の　内　容	時　間
1. リベット一般	(1) 名称 (2) 表示法 (3) 材料と特性 (4) 熱処理 (5) ブラインドリベット (6) リベットの穴あけ (7) 皿取りとディンプリング	5 H
2. リベッティング	(1) ニューマティックハンマーの取扱い (2) スクイザー (3) 手打ち (4) リベッティング後の検査 (5) 板取り (6) 穴あけ (7) リベッティング作業 (8) リベット除去作業	29 H
3. 構造修理	(1) 修理一般 (2) 負荷分類 (3) 損傷部処理方法 (4) 構造修理の基本原則 (5) リベットの選定要素 (6) 本数の求め方 (7) リベットの配置 (8) 例題によるパッチ修理 (9) パッチ製作作業	25 H
4. 成形法	(1) 用語一般 (2) 展開図の書き方 (3) 曲げ作業における注意事項 (4) チャンネルの製作	12 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
5. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H
		合計 72 H
使用する機械器具等		

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	航空機基礎整備実習		
授業科目	機械計測	単　位	2
授業科目の目標	航空機整備に必要な機械計測の基礎知識及び基本整備技術を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 計測器管理要領	(1) 計測器全般 (2) 精度、誤差について (3) ノギスの原理と構造 (4) マイクロメータの原理と構造 (5) シリンダゲージの原理と構造	10 H
2. 計測器取扱い要領	(1) 計測器の取扱い (2) シリンダ内径の測定 (3) 計測結果の良否の判定	25 H
3. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H
		合計 36 H
使用する機械器具等	ノギス、マイクロメータ、シリンダゲージ等	

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	航空機基礎整備実習		
授業科目	電気計測	単　位	2
授業科目の目標	航空機整備に必要な電気計測の基礎知識及び基本整備技術を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 許容差	(1) 許容差について	2 H
2. 有効測定範囲	(1) 計測器の種類と絶縁抵抗計の有効測定範囲について	2 H
3. 動作原理と記号	(1) 作動原理と記号について	2 H
4. 各種測定器の使用上の注意	(1) 計測器の点検要領	2 H
5. 各種測定器による測定方法	(1) 計測器の取扱い要領 (2) 計測器の使用前点検 (3) 絶縁抵抗の測定方法 (4) 交流電圧測定方法 (5) 精密な抵抗測定方法	14 H
6. 抵抗の測定	(1) 固定抵抗器のカラーコード (2) 抵抗測定方法 (3) 測定と良否の判定	8 H
7. 電圧測定	(1) 直流電圧の測定方法 (2) 測定と良否の判定	5 H
8. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	テスタ、絶縁抵抗計、ホイートストンブリッジ

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	航空機基礎整備実習		
授業科目	ケーブル作業	単　位	2
授業科目の目標	航空機において操縦操作量の伝達などの役割を担うケーブルの種類、構成要素と特徴を習得する。また、それらの製作方法、試験方法を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. ケーブル一般	(1) ケーブルの種類、特徴、材料、構成、性質 (2) ケーブル・エンド・フィッチング	2 H
2. 検査・防錆処置	(1) ケーブルの検査（クリーニング、損傷の種類） (2) ケーブルの保存、防錆、潤滑	2 H
3. 製作方法	(1) ケーブル・アセンブリの製作 (2) スエージ後の検査 (3) ケーブルの保証荷重試験	9 H
4. リギング	(1) ケーブル・リギングの目的、方法、注意事項 (2) ターン・バックルのセーフティ・ロック ① セーフティシングル・ラップ法 ② セーフティダブル・ラップ法 ③ セーフティクリップ法 (3) 各種リギング作業	22 H
5. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	テンションメーター、ダイアゴナルカッティングプライヤー、ダックビルプライヤー、ノギス、三角定規、ターンバックル回し、温度計、安全メガネ、ウエス

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	航空機基礎整備実習		
授業科目	締結作業	単　位	4
授業科目の目標	航空機整備の基本である締結作業に必要な基礎知識と整備技術を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. ボルトナット等部品の分類と取扱い	(1) 航空機における締結、関連規格、ねじの種類、規格 (2) ボルトとナットの概要、航空機用ボルトの種類 (3) ボルトの取扱い上の注意、制限事項、スクリューの種類と取扱い (4) 航空機用ナットの種類、ナットの取扱い上の注意、制限事項 (5) 航空機用ワッシャーの種類、取扱い上の注意、制限事項	6 H
2. 安全線、コッターピンの種類と取扱い	(1) 安全線、コッターピンの目的、役割、種類、規格 (2) 安全線、コッターピン取扱い上の注意、制限事項	2 H
3. トルクについて	(1) 締結作業におけるトルク、正確なトルクをかける目的 (2) 各種トルクレンチの特徴と取扱い (3) トルクレンチにエクステンションを装着した場合の修正方法	6 H
4. 締結時の注意事項	(1) 締結部品の用途・強度・材質による組合せ制限事項 (2) ボルトの取付方向、ボルト穴の点検方法 (3) グリップ調整の方法、ボトミング・チェックの目的と方法 (4) セルフロッキング・トルク・チェックの目的と方法 (5) 腐食防止対策	6 H
5. 基本的なボルト・ナットの締結作業	(1) 作業安全上の注意事項、工具類の名称、使い方 (2) ボルト穴の径及び厚み点検、計測、部品の選択 (3) ビーム式トルクレンチの使用方法、ダイヤル式トルクレンチの使用方法 (4) ボトミング点検の方法、安全線取り付けの基本	12 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
6. 安全線を伴う締結作業、コッターピン作業	(1) 安全線取付（２ユニット間、３ユニット間） (2) コッターピン取り付け	39 H
7. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H
		合計 72 H
使用する機械器具等	各種トルクレンチ、各種レンチ、各種プライヤー、各種ハンマー、各種締結作業専用計測器	

授 業 科 目 カ リ キ ュ ラ ム 表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教 科 の 科 目	機体整備実習		
授　業　科　目	機体整備実習Ｉ	単　位	13
授業科目の目標	当該実習機（飛行機）の機体構造と主に操縦系統・着陸系統・燃料系統について、その構成・機能・作動・整備方法を習得する。		

授業科目の細目	授　業　科　目　の　内　容	時　間
1. 機体の諸元、機体構造	(1) AMM、IPC及び飛行規程の見方及び注意事項 (2) 諸元調査及び機体構造調査 (3) 機体に関するTCD／SBの内容確認及び不具合処理	46 H
2. 操縦系統	(1) 操縦系統調査 (2) 操縦系統の計測 (3) タブコントロールの調査 (4) マスバランスの調査 (5) 動翼交換作業	68 H
3. 着陸系統	(1) 着陸系統調査 (2) オレオの構造調査 (3) ランディングギア交換作業調査 (4) ステアリング系統、ブレーキ系統調査	40 H
4. ホイール・タイヤ	(1) ホイール・タイヤ調査 (2) ホイールアッセンブリーの交換作業	22 H
5. 燃料系統	(1) 燃料系統調査	14 H
6. 空調系統	(1) 空調系統調査	12 H
7. 客室装備	(1) 客室内部調査 (2) シート、ドア、ウインドー調査	16 H
8. 重心位置	(1) 機体重心位置の測定	14 H
9. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	2 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
		合計 234 H
使用する機械器具等	各種トルクレンチ、各種レンチ、各種プライヤー、各種ハンマー、各種締結作業専用計測器	

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	機体整備実習		
授業科目	機体整備実習Ⅱ	単　位	3
授業科目の目標	当該実習機（飛行機Ⅱ）おいて、油圧・空調・防火／消火・防除氷・酸素の各系統について習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 油圧系統	(1) 飛行機Ⅱの油圧系統概要説明 (2) 飛行機Ⅱの降着装置概要の理解	18 H
2. 換気暖房系統	(1) 飛行機Ⅱの空調、換気について (2) 飛行機Ⅱの温度制御について (3) 空調系統を実機確認	12 H
3. 防除氷系統	(1) 飛行機Ⅱの防除氷の目的と方法について (2) 飛行機ⅡのDE－ICER BOOTS系統について (3) 飛行機ⅡのプロペラにおけるPHASEについて (4) ストールベーン、ピトー管、操縦室窓の防除氷及び着氷点検灯について (5) 防除氷系統を実機確認	14 H
4. 防火系統	(1) 火災感知と消火について	4 H
5. 酸素系統	(1) 飛行機Ⅱの酸素系統の特色について (2) 酸素系統を実機確認	4 H
6. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	2 H
		合計 54 H

使用する機械器具等	飛行機Ⅱ、飛行機Ⅱ用電源、飛行機Ⅱ用ジャッキ

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	発動機整備実習		
授業科目	発動機整備実習	単　位	11
授業科目の目標	主に当該実習機（飛行機）のエンジンを教材に、トップオーバーホール作業、エンジンの取り外し・取り付け・性能点検、各エンジンコントロール系統及び補機の構成・特徴・調整法等を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 主要諸元	(1) 実習機搭載エンジンに関する諸元	4 H
2. 主要部品の取付け位置概要	(1) 主要部品の名称、取付け位置	4 H
3. マグネトの取付け	(1) マグネトの構造 (2) マグネト点火時期点検 (3) マグネトの取付け (4) 点火プラグの点検・調整	20 H
4. シリンダ・コンプレッション試験	(1) シリンダ・コンプレッション試験	8 H
5. シリンダのトップ・オーバーホール作業と構造の概要	(1) シリンダ取外し、点検、取付け (2) オイルサンプ、アクセサリー・ハウジングの取外し、取付け (3) 弁作動機構の取外し、点検、取付け (4) 歯車列の構成 (5) 潤滑系統の構成 (6) ショック・マウントの構造 (7) ピストン・リング取外し、測定、取付け	46 H
6. 弁作動機構の整備	(1) 弁間隙測定、調整法 (2) 排気弁と弁ガイドの状態判定	6 H
7. アイドル調整	(1) アイドル回転・混合比調整方法	6 H
8. 油圧調整	(1) 滑油圧力の調整	2 H
9. 不具合項目処置	(1) 不具合項目に対する処置方法及び実施	4 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
10. マグネトの点検	(1) 点検内容 (2) ハーネスの構造 (3) 内部タイミング点検	8 H
11. エンジン脱着作業と各系統の構成	(1) 機体からの取り降ろし (2) 機体への取付け	62 H
12. 性能	(1) 性能曲線	4 H
13. 主要部品の構成、機能および作動	(1) 主要部品の構成、機能、作動	10 H
14. 各系統、補機の構成、点検及び調整	(1) 各系統、補機の構成、点検、調整	12 H
15. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	2 H
		合計 198 H
使用する機械器具等	飛行機用エンジン、飛行機、気筒漏えい試験器、マグネトチェッカー、 ベビークレーン他	

授 業 科 目 カ リ キ ュ ラ ム 表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教 科 の 科 目	発動機整備実習		
授　業　科　目	プロペラ整備実習	単　位	2
授業科目の目標	当該実習機用の定速プロペラの構造、ピッチ変更機構を習得する。プロペラの日常点検・定時定期点検の内容、実施時期及び良否判定基準を習得する。プロペラ・ガバナの構造及び作動を習得する。		

授業科目の細目	授　業　科　目　の　内　容	時　間
1. 対象プロペラ	(1) 実習機のプロペラ諸元 ① 型式 ② 直径 ③ 羽根角 (2) オーナーズ・マニュアルの当該箇所の内容確認	5 H
2. プロペラの分解・構造調査	(1) プロペラの分解前検査 (2) プロペラの分解、洗浄 (3) プロペラ内部の構造調査 (4) プロペラの組立、羽根角調整 (5) プロペラの静バランス調整、給脂	16 H
3. プロペラ・ガバナの構造調査	(1) 実習機のプロペラ・ガバナ諸元 (2) ガバナ内部の構造確認 ① 回転部・摺動部 ② 油の出入口 ③ 油路 ④ 三種の状態 ⑤ ラック位置と選定回転数	10 H
4. レバー位置・操作と回転数	(1) プロペラ・レバー固定（選定回転数：数種）、スロットル・レバーを操作した時の定常回転数 (2) スロットル・レバー固定（中間）、プロペラ・レバーを操作した時の過渡応答回転数 (3) プロペラ・レバー固定（選定回転数：最大）、スロットル・レバーを操作した時の過渡応答回転数	2 H
5. 実機での整備作業	(1) エンジンへの装着（プロペラ、プロペラ・ガバナ） (2) トラッキング (3) ガバナの調整	2 H
6. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
		合計 36 H
使用する機械器具等	プロペラ、プロペラ・ガバナ、プロペラ回転試験台、プロペラバランス試験台、ディジタルクリノメータ	

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	電気装備実習		
授業科目	電気装備実習	単　位	5
授業科目の目標	当該実習機に装備される電気装備品及び電気系統（系統全体・各回路）の目的・構造構成・整備作業・調整作業について習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 電源システムの概要	(1) 当該実習機のELECTRICAL MANUALの読み方 (2) 当該実習機のELECTRICAL SYSTEMの理解 (3) 外部電源回路、バッテリ回路、スタータ回路等の実機確認	16 H
2. 低電圧検知機能の概要	(1) LOW VOLTAGE DETECTION SYSTEMの単体試験	8 H
3. 高電圧保護機能の概要	(1) OVER VOLTAGE DETECTION SYSTEMの単体試験	8 H
4. 定電圧調整機能の概要	(1) VOLTAGE REGULATION SYSTEMの作動試験	8 H
5. 搭載用蓄電池	(1) 搭載用蓄電池取外し・取付け、充電作業	8 H
6. 発電機	(1) ALTERNATORの分解・組立て・構造と発電原理	8 H
7. 起動機	(1) LIGHT/WEIGHT STARTERの分解・組立て・構造	8 H
8. 照明系統の機能の概要	(1) 内外部各種照明装置の機能と作動点検	8 H
9. 双発機の電源系統	(1) 小型双発機の電源系統及び発電機の並列運転の目的及び作動概要	17 H
10. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H 合計 90 H

使用する機械器具等	飛行機、充電器、搭載用バッテリ、外部電源（バッテリ式）、安定化電源、航空機搭載用発電機、起動機（始動機）、電圧調整機器

授 業 科 目 カ リ キ ュ ラ ム 表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教 科 の 科 目	計器装備実習		
授　業　科　目	計器装備実習	単　位	3
授業科目の目標	当該実習機に装備される各計器及び計器系統の目的・構造構成について習得する。計器関係整備作業の方式、定期点検の内容、実施時期及び良否判定基準を習得する。		

授業科目の細目	授　業　科　目　の　内　容	時　間
1. 対象計器	(1) 訓練対象となる計器及び計器系統 (2) メンテナンス・マニュアルの当該箇所の内容確認	8 H
2. 空盒計器・圧力計	(1) 空盒計器・圧力計の分解、構造調査 ① 高度計 ② 対気速度計 ③ 昇降計 ④ 吸気圧力計 ⑤ 吸引圧力計	6 H
3. 検査業務サーキュラ	(1) 検査業務サーキュラの計器関係部分の内容確認	6 H
4. ピトー／静圧系統	(1) ピトー／静圧テスタの使用法訓練 (2) 実機におけるピトー／静圧リークテスト実施 (3) 実機における高度計試験実施	14 H
5. ジャイロ計器・磁気コンパス	(1) ジャイロ計器の指示動作の確認 ① 水平儀 ② 定針儀 ③ ターンコーディネータ (2) 磁気コンパスの構造調査	5 H
6. 電気計器	(1) エレクトリカル・マニュアルの当該箇所の内容確認 (2) 電気計器の構造調査、点検実施	10 H
7. 位置確認	(1) ピトー／静圧系統の構成・配管の実機確認 (2) 吸引系統の構成・配管の実機確認 (3) 電気計器センサー/配線の実機確認	4 H
8. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
		合計 54 H
使用する機械器具等	飛行機、ピトー/静圧テスタ、吸引ポンプ駆動装置、空気式ジャイロ駆動装置、旋回計試験機、安定化電源、EMCテスタ	

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	電子装備実習		
授業科目	電子装備実習	単　位	3
授業科目の目標	当該実習機に装備される電子装備品の構成部品の名称と働き・操作方法・機能試験・指示器の表示について習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 無線装備品操作の概要	(1) 実機のラジオ電源 (2) 各種ラジオパネル (3) 電波法・航空法上の必要書類 (4) 飛行試験での点検方法 (5) 通信方法一般	12 H
2. 無線装備品の使用法	(1) 無線装備品の使用法 ① オーディオセレクタパネル ② VHFコミュニケーションパネル ③ VHFナビゲーションパネル ④ ADF／DME／ATCパネル	10 H
3. 無線装備品の飛行試験	(1) 無線装備品の飛行試験における点検法 ① VHFパネルの点検法 ② ADF／DME／ATCパネルの点検法 ③ ATC／ILSのベンチテスト法	24 H
4. 無線装備品の取扱い	(1) 無線装備品の取外し・取付け (2) 放電索の点検法	4 H
5. 無線局	(1) 無線局の運用と申請 ① 搭載書類の内容確認 ② 無線局運用方法	3 H
6. 試験	(1) 試験（習得状況、理解度の確認）	1 H
		合計 54 H

使用する機械器具等	飛行機、航空機用ランプテスタ、各種無線装備品用テスタ、各種アンテナ、オーディオセレクタパネル、VHF（COMM/NAV）送受信機、DME、ATCトランスポンダ、VOR/ILSインジケータ、安定化電源

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	航空機整備科	教科の区分	専攻実技
教科の科目	航空機取扱実習		
授業科目	航空機取扱実習（総合制作実習）	単　位	10
授業科目の目標	飛行機の整備を行う上で、日常的・準備的な作業について習得する。航空機整備の全体体系をつかみ、各種点検の内容及び実施時期を習得する。点検表に従った的確な取扱い操作及び良否判定を習得する。判定結果から応用作業に結び付け実施する方法を習得する。航空法の実務的運用を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 地上取扱い	(1) 整備上の一般基本事項 ① アース ② 火気に対する安全確認 ③ 消火器の取扱い ④ ガソリンの危険性 ⑤ 油脂類の保管 (2) プロペラ手回し (3) トウイング (4) 燃料・潤滑油の取扱い (5) パーキング、タイダウン (6) 洗浄作業 (7) ジャッキング、レベリング作業 (8) 保管その他 ① 保管の種類、手順 ② 火災時の処置	35 H
2. 試験１	(1) 試験１（習得状況、理解度の確認）	1 H
3. 発動機試運転	(1) 発動機試運転実施要領 (2) 発動機試運転実施	38 H
4. 航空機の整備	(1) 整備概論 (2) 整備の体系 (3) 整備の方式	4 H
5. 定時点検、特別点検	(1) 定時点検・定期点検の種類 (2) 使用時間等の定義 (3) 特別点検の種類と作業内容の概要	4 H
6. 定時点検実施	(1) 50時間点検の実施	14 H

授業科目カリキュラム表

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
7. 日常点検	(1) 飛行前点検実施要領 (2) 飛行前点検実施	65 H
8. 試験２	(1) 試験２（習得状況、理解度の確認）	1 H
9. 航空法の実務的運用	(1) 航空機の整備作業に関係する法規 (2) 国際民間航空条約と航空法の関係 (3) 航空法の目的、基本理念及び体系 (4) 航空機の登録 (5) 耐空証明及び型式証明 (6) 修理改造検査及び予備品証明 (7) 認定事業場及び作業区分 (8) 航空従事者、航空機の運航、整備方式 (9) 立入り検査、航空機の安全管理	16 H
10. 試験３	(1) 試験３（習得状況、理解度の確認）	2 H
		合計 180 H
使用する機械器具等	飛行機、消火器、燃料補給装置、ガソリン、ジャッキ、トウイング装置、外部電源（バッテリ式）、安定化電源、洗浄用具	